

司書教諭講習科目における CMSの活用と課題

今井 福司

東京大学大学院教育学研究科

2011年8月20日

1

はじめに

- 本研究の問題意識・背景
- NetCommons について
- 司書教諭講習科目の性格

2

NetCommons を使用した授業

- 授業概要
- NetCommons の利用場面

3

NetCommons の評価

- 管理者としての評価
- 授業者としての評価
- 学習者による評価

4

今後の課題

1

はじめに

- 本研究の問題意識・背景
- NetCommons について
- 司書教諭講習科目の性格

2

NetCommons を使用した授業

- 授業概要
- NetCommons の利用場面

3

NetCommons の評価

- 管理者としての評価
- 授業者としての評価
- 学習者による評価

4

今後の課題

問題意識

- 大学教育で情報通信技術を活用した事例は、eラーニングなどをはじめとして本格的な実践が行われている。

問題意識

- 大学教育で情報通信技術を活用した事例は，eラーニングなどをはじめとして本格的な実践が行われている。
- しかし，学校図書館の専門職を養成する，司書教諭養成科目では試行段階である。

問題意識

- 大学教育で情報通信技術を活用した事例は、eラーニングなどをはじめとして本格的な実践が行われている。
- しかし、学校図書館の専門職を養成する、司書教諭養成科目では試行段階である。
- そこで発表者はこれら養成科目で、Contents Management System (CMS) の一種である NetCommons を導入し、授業運営を行った。

本発表の位置づけ

- 発表者の実践を紹介した上で、NetCommons が「管理者」、「授業者」、「学習者」の3つの立場から見ても効果的だったかを検討する。

本発表の位置づけ

- 発表者の実践を紹介した上で、NetCommons が「管理者」, 「授業者」, 「学習者」の3つの立場から見ても効果的だったかを検討する。

管理者: NetCommons のシステム管理者。

授業者: 授業を担当する教員。

学習者: 授業に登録し、受講している学生。

本発表の位置づけ

- 発表者の実践を紹介した上で、NetCommons が「管理者」、「授業者」、「学習者」の3つの立場から見て効果的だったかを検討する。
 - 管理者: NetCommons のシステム管理者。
 - 授業者: 授業を担当する教員。
 - 学習者: 授業に登録し、受講している学生。
- 発表者は「管理者」と「授業者」を兼任した。

NetCommons の特徴

- 国立情報学研究所のプロジェクトで開発された。
 - 各種 Web サイトでの採用実績がある。
 - オープンソースであり、利用は無料である。
 - 利用者ごとに公開範囲や編集権限が違うスペースを作成可能。



Figure 1: NetCommons 公式 Web サイト

科目の位置づけ (1)

- 司書教諭講習科目とは、司書教諭免許取得のための科目。
 - 学校図書館の運営や指導に携わるための免許で、12 学級以上の学校には配置義務がある。
 - 科目は 5 科目 10 単位が設置されている。内容は、文部科学省報告「司書教諭講習等の改善方策について」に示されている (1998 年)。
- 本発表では、この 5 科目の内「学校経営と学校図書館」、「情報メディアの活用」を対象とした。

科目の位置づけ（2）

科目の位置づけ（2）

学校経営と学校図書館

学校図書館の教育的意義や経営など全般的事項についての理解を図る→幅広い教材の提示を行う必要がある。

科目の位置づけ (2)

学校経営と学校図書館

学校図書館の教育的意義や経営など全般的事項についての理解を図る→幅広い教材の提示を行う必要がある。

情報メディアの活用

学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る→学習者の情報メディアを用いた実習に対応する必要がある。

NetCommons を使用した理由

- Web 上の教材を提示したり，学習者自身のグループ演習について CMS を使うと効率的な運営ができると考えられた。
 - 当初，大学独自の CMS が設けられていたため，これを使おうと考えた。
 - 大学独自の CMS では，学習者自身がページを作成したりことができなかつたため，NetCommons を利用した。

1

はじめに

- 本研究の問題意識・背景
- NetCommons について
- 司書教諭講習科目の性格

2

NetCommons を使用した授業

- 授業概要
- NetCommons の利用場面

3

NetCommons の評価

- 管理者としての評価
- 授業者としての評価
- 学習者による評価

4

今後の課題

対象とした授業

	科目名	人数	教室
事例 1	情報メディア利用論	22 名	PC 教室
事例 2	学校経営と学校図書館	16 名	普通教室
事例 3	情報メディア利用論	15 名	PC 教室

- 事例 1 と 2 は 2009 年度に、事例 3 は 2010 年度に青山学院大学で実施している。
- NetCommons の利用登録は、PC 教室では全員が、普通教室では希望者のみが登録した。

使用したCMSの機能（授業者）

全ての事例で次の機能を使用した。

- 1 授業用 Web ページの構築機能
- 2 電子ファイルの配布機能
- 3 Web サイトのリンクリスト構築機能

普通教室では、授業者がプロジェクターで画面を提示するだけにとどまった。

使用したCMSの機能（学習者）

「情報メディア利用論」では，一部のスペースを学習者が編集できるように設定した。

そして，グループ演習として以下の機能を用いて「メディアを用いた指導案の作成」を行った。

- ① 指導案に関連した写真の掲示機能
- ② インターネットの Web ページの一部を表示する機能

情報メディア利用論における活用例

(Web画面のデモンストレーションを行います)

1

はじめに

- 本研究の問題意識・背景
- NetCommons について
- 司書教諭講習科目の性格

2

NetCommons を使用した授業

- 授業概要
- NetCommons の利用場面

3

NetCommons の評価

- 管理者としての評価
- 授業者としての評価
- 学習者による評価

4

今後の課題

管理者としての評価

- システム構築や学習者の ID 登録の段階で、困難が生じた。
- ただし、初期設定を済ませてしまえば、半期の授業でシステムを一度も止めることはなく、安定した動作をしていた。

授業者としての評価

- 電子ファイルの配布機能により，レジュメや参考資料の紛失の対応で時間を取られることがなくなった。
- 授業用リンクリストの機能により，URL を学習者にタイプさせなくてもアクセスさせられ，効率よく Web 上の教材を提示することができた。

以上の点から，NetCommons の導入は，管理者，授業者の両面から見て，効果を発揮することができたと考えられる。

学習者アンケートの実施状況

学習者アンケートを最終回及び終了後に実施した。

	受講人数	回答数	回答率
事例 1	22 名	20 名	91%
事例 2	16 名	13 名	87.5%
事例 3	15 名	8 名	53.3%

授業の感想に関する自由記述を除いて、全て「非常に
そう思う」から「全くそう思わない」までの5段階で
回答するアンケートを実施した。

学習者アンケートの設問

- 設問 A: NetCommons システムの利用に対する教員のレクチャーは適切だった
- 設問 B: NetCommons システムは授業の展開にとって、有効なシステムだった
- 設問 C: NetCommons システムは他の教員や、授業でも使用して欲しい
- 設問 D: わたしは将来 NetCommons システムを使って、授業を行いたい

学習者アンケートの結果

	1	2	3	4	5	平均値
設問A「NetCommonsシステムの利用に対する教員のレクチャーは適切だった」						
事例1	0	2	1	11	6	4.05
事例2	0	4	4	3	2	3.23
事例3	0	0	0	1	6	4.86
設問B「NetCommonsシステムは授業の展開にとって、有効なシステムだった」						
事例1	0	0	4	9	7	4.15
事例2	0	4	3	3	3	3.38
事例3	0	0	0	2	5	4.71
設問C「NetCommonsシステムは他の教員や、授業でも利用してほしい」						
事例1	0	1	8	7	4	3.70
事例2	0	3	2	4	4	3.69
事例3	0	0	2	3	2	4.00
設問D「わたしは将来NetCommonsシステムを使って、授業を行いたい」						
事例1	0	6	7	3	3	3.16
事例2	1	2	5	3	2	3.23
事例3	0	0	3	2	2	3.86

表1 授業アンケートにおけるNetCommonsシステムへの評価

Figure 2: NetCommons システムへの評価

学習者アンケートの考察（1）

	1	2	3	4	5	平均値
設問A「NetCommonsシステムの利用に対する教員のレクチャーは適切だった」						
事例1	0	2	1	11	6	4.05
事例2	0	4	4	3	2	3.23
事例3	0	0	0	1	6	4.86
設問B「NetCommonsシステムは授業の展開にとって、有効なシステムだった」						
事例1	0	0	4	9	7	4.15
事例2	0	4	3	3	3	3.38
事例3	0	0	0	2	5	4.71
設問C「NetCommonsシステムは他の教員や、授業でも利用してほしい」						
事例1	0	1	8	7	4	3.70
事例2	0	3	2	4	4	3.69
事例3	0	0	2	3	2	4.00
設問D「わたしは将来NetCommonsシステムを使って、授業を行いたい」						
事例1	0	6	7	3	3	3.16
事例2	1	2	5	3	2	3.23
事例3	0	0	3	2	2	3.86

表1 授業アンケートにおけるNetCommonsシステムへの評価

学習者アンケートの考察（1）

- 設問B（授業に有効か）では、事例1と事例3では平均値が4以上となっており、5の評価も事例1では3分の1程度、事例3では大半が5であった。
 - PC教室で行った事例では授業の展開に有効なシステムと評価されたのではないか。

学習者アンケートの考察（2）

設問Aと設問Bで見られた「あまりそう思わない」の回答について

1	2	3	4	5	平均値
0	2	1	11	6	4.05
0	4	4	3	2	3.23
0	0	0	1	6	4.86
0	0	4	9	7	4.15
0	4	3	3	3	3.38
0	0	0	2	5	4.71

学習者アンケートの考察（2）

- 設問Aで、事例1および事例2で2の評価があった。
 - 操作方法について授業中や授業後に質問があったことから考えると、操作方法のレクチャーが十分でなかった可能性がある。
 - また、意見としてはなかったが、NetCommons を使う意義が十分説明し切れていなかったのかもしれない。

学習者アンケートの考察（2）

- 設問Aで、事例1および事例2で2の評価があった。
 - 操作方法について授業中や授業後に質問があったことから考えると、操作方法のレクチャーが十分でなかった可能性がある。
 - また、意見としてはなかったが、NetCommonsを使う意義が十分説明し切れていなかったのかもしれない。
- 設問Bについて、事例2で2の評価があった。
 - 学習者は登録希望者以外は授業中に教員が上映する画面を見るだけだったので、効果が実感しにくかったのではないか。

1

はじめに

- 本研究の問題意識・背景
- NetCommons について
- 司書教諭講習科目の性格

2

NetCommons を使用した授業

- 授業概要
- NetCommons の利用場面

3

NetCommons の評価

- 管理者としての評価
- 授業者としての評価
- 学習者による評価

4

今後の課題

本実践の成果

- 1 管理者，授業者の観点からは利用しやすく，効果が実感できるシステムであった。
- 2 PC 教室での利用においては学習者からの観点でも，効果的であるとの評価が得られた。

本実践の課題

- ① 大学独自で設置している CMS との違いや使用する意義について、きちんと説明する必要がある。
- ② 普通教室では、希望者以外にとっては効果が実感しにくかったため、全員が登録する必要があると思われる。

発表は以上です。

ご静聴いただきまして、ありがとうございました。

コメントなど頂ければ幸いです。

E-Mail: fukuji@rc5.so-net.ne.jp

Twitter ID: @Librarius_i